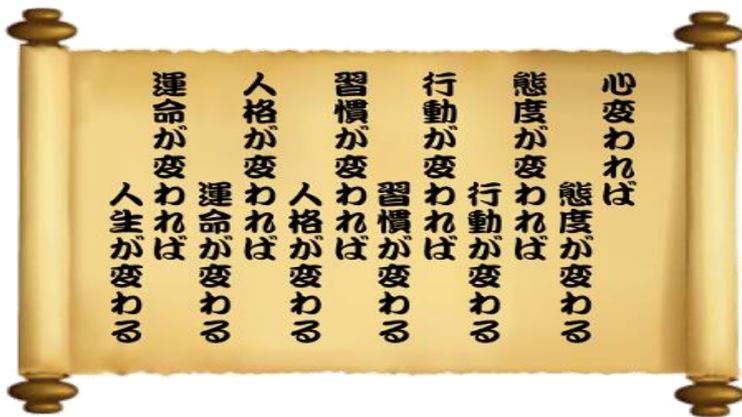


校訓	真善美	令和5年度 学校通信	発行日	令和6年3月4日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 -感謝する心、確かな学力、健やかな心身を育てる-	「荒中だより」 3月 弥生 第31号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

【 3月8日^{金曜日} 第43回卒業証書授与式 】

先週木曜日には、「卒業生を送る会」がありました。生徒会本部役員のみなさんが、念入りに準備し、楽しく進行してくれました。卒業生に感謝の気持ちを伝えるため、1, 2年生各クラスで作成したビデオメッセージを全校生徒で観て、感謝の気持ちがこみ上げると同時に、さみしい気持ちから涙を流す在校生の姿があり、温かく素敵な時間となりました。

「3月8日は、記憶に残る卒業式に必ずしてみせます。」と、3年生代表生徒からのメッセージが印象的でした。そして、強い意志と覚悟を感じました。5年ぶりの制限無しの卒業式となります。厳粛、かつ盛大に、全校生徒と全職員で、練習、準備をして創り上げていくというひとりひとりの意識が必要です。



今年度の卒業式は、体育館に全校生徒(613席)、3年生の保護者(400席)、来賓をお迎えして、行います。先週金曜日には、1, 2年生合同の式練習も始まりました。式練習も、TPOに合わせて本番同様式服で行います。もちろん、先生方もTPOに合わせた服装で指導しておられます。本番に向けて気持ちをつくり、緊張感をもって参加し、卒業生の門出を祝福しましょう。

卒業式は、卒業生にとっては、9年間の義務教育の集大成を示す日です。

特別な意味を持つこの儀式的行事は、学校教育の集大成として、世界に誇る「日本人の礼儀正しさやマナーの良さ」につながります。

- ・卒業生にとっては、自らの成長に誇りをもち、それを支援してくれた保護者、地域の方々、先生方への感謝と将来への決意を示す機会となります。そして、先輩方が、築き上げてきた伝統を受け継ぐ在校生の姿を示す日でもあります。
- ・在校生にとっては、バトンをしっかりと受け取る日であり、来年、再来年は自分事です。
- ・保護者にとっては、義務教育を終える、こどもの成長をかみしめる日です。
- ・地域にとっては、育てた子どもの晴れ姿を祝う学校最大の行事です。

5年ぶりに制限のない卒業式を迎えるにあたり、今週は、毎日式練習があります。式服での参加となります。髪型、白靴下、白下着などの準備をお願いします。心(意識)は、行動。

4日(月)①②3年生式練習	⑤1, 2年生式練習
5日(火)②③3年生式練習	⑥1, 2年生式練習
6日(水)③④全校生徒合同練習	⑥3年生式練習
7日(月)①3年生式練習	②1, 2年生式練習
③④全校生徒、全職員リハーサル	



